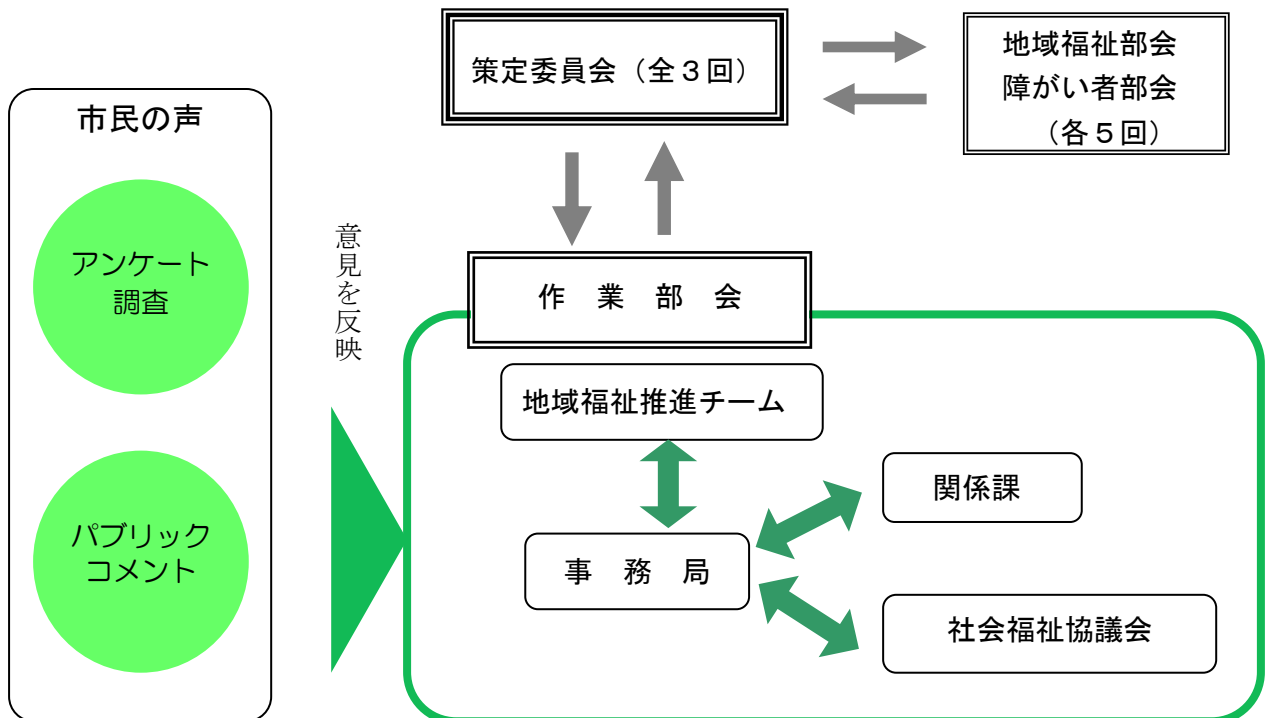


資料 1 鯖江市地域福祉計画等策定体制および策定経過

(1) 策定体制



『策定委員会』

- 学識経験者、関係団体や市民の代表等により構成し、作業部会、事務局の作成する地域福祉計画案と障がい者計画案について様々な視点から意見交換および協議を行います。

『地域福祉部会・障がい者福祉部会』

- それぞれの計画に関する専門的事項等について協議します。

『作業部会』

- 地域福祉施策は各分野にまたがるものであるため、前計画策定時に発足した地域福祉推進チーム（庁内の関係各課職員）を中心に作業部会を組織し、総合的な計画の推進に向け各部門の個別施策について連携・調整を図ります。

【地域福祉推進チーム】

社会福祉課、長寿福祉課、子育て支援課、保育・幼児教育課、健康づくり課（健康福祉部以外の関係課は随時参加）

【市社会福祉協議会】

(2) 鯖江市福祉のまちづくり審議会委員名簿

(敬称略・順不同)

区 分	委員氏名	備 考	部 会
学識経験者	◎久常 良	元大学教員	地 域
福祉・ 保健関係団体	簀下 秀雄	鯖江市区長会連合会代表	地 域
	蓑輪 進一	鯖江市社会福祉協議会会長	地 域
	青山 昭八郎	鯖江市民生委員児童委員協議会連合会会長	地 域
	藤原 春天	鯖江市公民館連絡協議会会長	地 域
	岡田 秀治	鯖江市保育協議会会長	障がい
	三上 利明	鯖江市老人クラブ連合会会長	障がい
	吉田 正樹	鯖江市身体障害者福祉連合会理事	障がい
	松成 景子	福井県介護支援専門員協会丹南支部代表	地 域
	○荒木 博文	社会福祉法人光道園 理事長	障がい
	石川 治樹	丹南地区自立支援協議会副会長	障がい
	酒井 布美江	鯖江市愛育会副会長	障がい
教育関係団体	五十嵐 靖浩	鯖江市校長会代表	地 域
行政機関	高橋 久美子	福井県丹南健康福祉センター福祉保健部長	障がい
市民（公募）	貨泉 泰子		障がい

◎は委員長兼地域福祉部会会長、○は副委員長兼障がい者福祉部会会長

(3) 鯖江市福祉のまちづくり審議会設置条例

(設置)

第1条 本市における福祉のまちづくりの推進を図るため、地方自治法（昭和22年法律第67号）第138条の4第3項の規定に基づき、鯖江市福祉のまちづくり審議会（以下「審議会」という。）を置く。

(所掌事務)

第2条 審議会は、市長の諮問に応じて、次の各号に掲げる事項に関する調査、研究および審議を行う。

- (1) 地域福祉の推進に関すること。
- (2) 障がい者福祉の向上に関すること。
- (3) その他福祉のまちづくりの推進に資する施策に関すること。

(組織)

第3条 審議会は、委員16人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

- (1) 福祉、保健または医療に関する事業に従事する者
- (2) 福祉団体の関係者
- (3) 学識経験者
- (4) 前3号に掲げる者のほか、市長が適当と認める者

(委員の任期)

第4条 委員の任期は2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長および副会長)

第5条 審議会に会長および副会長1人を置く。

2 会長および副会長は、委員の互選により定める。

3 会長は、審議会を代表し、会務を総理する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときまたは欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 審議会は、会長が招集し、会長が会議の議長となる。

2 審議会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

3 審議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(部会)

第7条 審議会が必要と認めるときは、審議会に部会を置くことができる。

2 部会は、会長が指名する委員をもって組織する。

3 部会には、部会長を置き、部会に属する委員のうちで互選する。

4 部会長は、部会における審議の状況および結果を審議会に報告しなければならない。

(意見の聴取)

第8条 会長および部会長は、審議会および部会において必要があると認められるときは、委員以外の者を会議に出席させ、意見を聴くことができる。

(委任)

第9条 この条例に定めるもののほか、審議会に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

資料１ 鯖江市地域福祉計画等策定体制および策定経過

(４) 策定経過

開 催 日	審 議 内 容
令和２年１１月２４日	令和２年度鯖江市福祉のまちづくり審議会 ・第４次地域福祉計画・第５次障がい者計画の策定方針等について
令和２年１２月１５日	地域福祉部会・障がい者福祉部会 ・地域福祉計画・障がい者計画アンケート調査について
令和２年１２月２１日	地域福祉部会・障がい者福祉部会 ・地域福祉計画・障がい者計画アンケート調査について
令和３年１月１５日	第４次地域福祉計画・第５次障がい者計画市民アンケート調査 ・実施期間 令和３年１月１５日～令和３年１月２９日
令和３年７月１９日	第１回鯖江市福祉のまちづくり審議会（策定委員会） ・第４次地域福祉計画・第５次障がい者計画策定方針等について ・市民アンケート調査の報告について
令和３年１０月４日	第１回障がい者福祉部会
令和３年１０月１５日	第１回地域福祉部会
令和３年１１月５日	第２回障がい者部会
令和３年１１月８日	第２回地域福祉部会
令和３年１１月２９日	第３回地域福祉部会
令和３年１１月３０日	第３回障がい者福祉部会
令和３年１２月２１日	第２回鯖江市の福祉のまちづくり審議会（策定委員会） ・各部会まとめ
令和４年２月	「第４次鯖江市地域福祉計画・第５次鯖江市障がい者計画」 議会報告

資料 1 鯖江市地域福祉計画等策定体制および策定経過

開 催 日	審 議 内 容
令和 4 年 2 月	「第 4 次鯖江市地域福祉計画・第 5 次鯖江市障がい者計画」に関する市民意見の募集 ・パブリックコメント実施 ～令和 4 年 2 月
令和 4 年 3 月 11 日	第 3 回まちづくり審議会（策定委員会）
令和 4 年 3 月 24 日	「第 4 次鯖江市地域福祉計画・第 5 次鯖江市障がい者計画」市長答申

資料2 前計画推進状況の評価

(1) 前地域福祉計画の評価

基本施策	前計画の評価	市民・関係団体からの主な意見等
1- (1) つながりのある地域づくり	* 学校・家庭・地域・関係機関が連携を深め、挨拶の励行に心がけた。PTAや見守り隊等に協力を求め、あたたかい挨拶と、安心して登下校できるような環境づくりに取り組んだ。 * 平成24年度からスタートした「市民まちづくり応援団講座」について、市民主役条例推進委員会・地域自治部会と連携し「市民まちづくり応援団講座」修了生を対象に意見交換会・講座等を実施。各地区での取り組みを共有化し、楽しみながら気持ちの高揚を図った。また、市民主役条例推進委員会と鯖江市区長会連合会が連携し「市民主役フォーラム」として実施した。 * 地区公民館において地域住民のニーズにあった各種の講座やイベントを開催し、地域住民の交流を促進した。 * 少子高齢化、核家族化で、家庭内で高齢者と子どもが関わる機会が減少する中、各地区公民館を中心に地域の団体と連携しながら、広い世代を対象とした事業を展開し、地域の世代間交流の促進に取り組んだ。 * 各小学校児童から校区の一人暮らし高齢者に対し年賀状の送付を行った。また、社協が助成している福祉協力校事業の中で各校が独自に地域の高齢者を学校行事に招待するなど世代間交流事業に取り組んだ。	* 地域何でも相談員が何名かいてほしい。 * 公民館等を開放し、子守りや見守り、昔遊びなどをしてもらい、地域交流や子供の防犯、高齢者の生きがいをづくりをしては。 * 75歳以上の高齢者や65歳以上の非正規社員となった人に、市から介護情報を発信しては。 * 高齢者や障害者、親世代に向けたサービスだけでなく、中高生自身が受けられるサービスや支援にも力を入れて欲しい。 * 子供の受け皿となるサービスや情報提供の場があると良い。 * 就職で鯖江に帰りたいと思えるような町になっていたらと思う。 * アパートの住民なので、町内との関わりはとても薄い。 * 地域で、区長、民生委員、愛育会会員、福祉委員の密なる連携が必要。 * 市民一人一人に「地域福祉」の大切なことを教育、お知らせすることが大事。 * 高齢者が増えたため、町内の役員の見守りなどがあれば心強い。 * 住みやすいと感じるには、いざという時に助け合える「ご近所付き合い」が大切。 * 町内に、老若男女、誰もがいつでも井戸端会議ができる場所があれば日々楽しく活気ある町づくりが出来る。 * 子どもや、高齢者などに、安心して声かけ・挨拶ができる社会づくり。
1- (2) 福祉意識の高揚	* ご近所福祉ネットワーク活動説明会を地区公民館等で開催し福祉意識の高揚をはかった。 * 学校では、PTA活動の一環として、親子でグラウンドの除草や町内ごとの社会奉仕を行った。また、校内の特別支援学級と共に、学校行事を実施した。 * 特別支援学校の児童生徒を迎え、一緒に給食を食べたりして学校同士の交流を行った。さらに、居住地校として該当児童生徒を迎えて交流した。 * 市内の全小中学校を福祉協力校に指定し、学校ごとに福祉学習に取り組んでいる。福祉学習の講師として職員、またはボランティアの派遣を行った。	* 子育て世帯への補助金の充実を増やしてほしい。 * 町内集会所の利用促進のため、設備を含めた援助・協力をお願いしたい。 * 住民同士の支えあいが必要。 * 働く毎日が続く中、他のことに意識が向かない。 * ご近所で助け合いたくても、個人情報保護のため難しく家にも訪ねにくい。 * 未来の子供達の成長につながる良い環境、施設の充実が大切。 * 鯖江市は他の町に比べて住みやすい良い市だと思う。 * 市役所をもっと身近に感じられ、相談し安く、少しでも前に進められる提案をし

基本施策	前計画の評価	市民・関係団体からの主な意見等
	* 高校生に対し、鯖江市キャラバンメイト連絡会が中心となり、認知症サポーター養成講座を実施した。 * 広報さばえやホームページで、民生委員・児童委員や赤十字奉仕団の活動などを広報し啓発した。 * 点訳のボランティア講座、介護サポーター養成講座を開催した。 * 市内全小中学校を福祉協力校に指定し、福祉学習の支援を行った。	てもらいたい。
1－(3) ボランティア活動の推進	* まちづくりモニター制度で、市職員のボランティア活動への参加をはかった。 * 市は、ボランティアセンター事業（社会福祉協議会が設置）に補助金を交付し支援している。 * 市民活動交流センターで、市民活動に対する相談業務を行った。「鯖江市民おでかけ日和カレンダー」をWEB上で公開し、市民活動情報の発信を支援した。 * 鯖江市災害ボランティアセンター連絡会の活動は、連絡会に集う各団体の連絡網の構築や、コロナ禍における災害ボランティア活動の留意点等の周知を、市社協と連携して行い、非常時に備えた。 * 「歳末助け合い募金」に小学校に声かけし、街頭募金を通して、ボランティア活動を促進した。	* ボランティアをするといってもどうしていいかわからない。もっと情報を出すか、こうしてほしいとか、行政からの提案を出すなど協力しやすい行政にしてほしい。 * 入社試験において面接で過去にボランティア活動に参加した事の有無を査定している。やはり社会人として無償で社会に貢献出来る人間を会社はもとめていると思う。
1－(4) 多様な地域福祉の担い手づくり	* 障がい者サークル・クラブの活動紹介、障がい者スポーツ団体・スポーツクラブの活動を紹介した。 * 区長会、民生委員児童委員協議会連合会、市社協との連携をはかるため、小地域福祉ネットワーク推進委員会を設置しご近所福祉ネットワーク活動を推進した。 * 団体に事業費の助成を実施した。 * ご近所福祉ネットワーク活動の推進のため、町内会等への出前講座を行った。 * 提案型市民主役事業を実施した。	* 町内の事を町内任せでなく、今の地区割や町内会の仕組みを見直し、今の生活に見合う形で誰もが無理なく参加できる仕組みにしてほしい。土台が変われば福祉も教育も流れが良くなる。 * 住民の支えあい、行政の協働には長期的な計画の下、恒常的に支援していかなければならないため、長く続けられる人を軸にし、その人の支援を行うべき。 * 市の相談員、民生委員、福祉委員が一体となって取り組むべき。 * 世代交代より中間世代の意見を反映した取り組みがもっと欲しい。子育て世代が考えて参加する講座がよい。
2－(1) 情報提供の充実	* 市ホームページや広報さばえで各種福祉サービスを周知するとともに、『福祉のしおり』を発行した。 * 広報紙やホームページなどを活用した広報を行った。 * 点訳、音訳ボランティアの協力で、視覚に障害のある方に広報紙を届けた。	* インターネットにうとい高齢者へはテレビや、新聞・広報紙など紙媒体で、若年層へはLINEやツイッターなどを利用すると情報が広がりやすい。 * 施設の電話番号一覧が広報にあると良い。 * 個人情報保護のため、一人暮らしや、高齢者、障がい者についての情報が少ない。

資料2 前計画推進状況の評価

基本施策	前計画の評価	市民・関係団体からの主な意見等
		守るべき情報と出すべき情報のコントロールが必要。 *一人暮らしでもできるだけ自立した生活を送るため、分かりやすい福祉の情報がたくさん欲しい。 *誰がどんな事業をいつしているのか、情報発信してほしい。
2－(2) 相談体制の充実	*障がい者福祉、高齢者福祉、児童福祉、保健など各分野で、対象者や内容別に窓口を設置し、各種相談に対応している。 *広報さばえ、市ホームページ、各種ガイドブック、会議やイベントで、総合相談窓口の周知を行った。 *資格保有する職員の配置に努め、相談職員の専門性を高めるため、研修会に参加している。 *市民相談課を設置し、市民相談と消費生活相談に行政相談と女性相談を加え、相談業務を強化した。 *関係機関・団体との連携・協力を密にし、相談への対応を行った。 *支援ネットワークとして、庁内16部署による「鯖江市生きる支援庁内連絡会議」を通じて、複合的な課題を抱える生活困窮者に対し、庁内外関係部署が横断的に取り組み、問題解決に向けた対応を効率的かつ効果的に推進した。 *丹南地区自立支援協議会の相談支援事業者等連絡会を開催し、情報交換や困難ケースの事例検討等を行うことにより、連携強化を図った。鯖江市指定特定相談事業者等連絡会を開催し、課題の検討や情報の共有を図った。	*本当に困った人やその時を早期発見、対応できる体制・町づくりが必要。 *増加する外国人への支援、相談体制の充実。 *町内会を利用した地域住民のささえ合う体制の構築。 *交通手段が失われた時など、各課にリモートで相談窓口がほしい（ipad利用、予約制でも可） *LGBTの当事者や関係者が相談できるところにアクセスしやすくしてほしい。
2－(3) 地域の問題発見体制の整備	*町内等で、声掛け見守り等で支援活動を行う体制を整備するため、ご近所福祉ネットワーク活動を推進した。また、区長、民生委員児童委員と連携し避難行動要支援者の把握を行った。ほかに、地域住民と密接な事業所と地域見守り協定を締結した。 *第1層生活支援コーディネーターを配置し地区ごとの座談会等に出席した。 *高齢者虐待の通報により、関係課や関係機関と連携して対応した。また、高齢者虐待防止ネットワーク運営委員会と、実態について情報共有し連携強化を図った。 *鯖江市障害者虐待防止センターで、障がい者虐待の早期発見に取り組んだ。	*空き家の有効利用を行政で検討してほしい。 *後期高齢者で運転免許を返納した人の移動手段の利便性をもっと考えて欲しい。 *共働きが多い福井県で子供を預けるサポートが弱い。保育士の給与を上げ、資格保有者を再雇用できるようにし、働く親がもっと楽に仕事ができるようにしてほしい。そうすることで、子供も増え、他県、他市からの移住もすすむ。 *農地、空き地等が多い。農業、園芸などを高齢者が生きがいの為に出来る仕組みを作ると良い。 *子供が安全に遊べる公園の整備。 *「ご近所福祉ネットワーク」、「避難行動要支援者登録制度」、「自主防災組織の避

基本施策	前計画の評価	市民・関係団体からの主な意見等
	*平成 31 年度から要保護児童対策地域協議会の実務者会議に参加し、要保護児童等の実態把握や情報共有に努めた。 *児童館・児童センターで、放課後に子どもが安全・安心に活動できる場を提供した。また、昼間共働きなどで、留守になる家庭の児童を保育する、放課後児童クラブを実施した。 *保健師・主任児童委員・保育士・教諭・子育てマイスターなどが参加し、子育て家庭の交流と、気軽な相談の場を提供した。またハーフバースデー事業として、同じ月齢の子どもを持つ子育て家庭同士の交流を通し育児不安の解消を図った。 *地域全体で子どもを見守る意識を高め、いじめや児童虐待等の早期発見・早期対応に努めた。また、家庭児童相談室や関係機関等と連携を密にし、適切に対応した。 *青少年の健全育成のため、青少年健全育成鯖江市民会議では、部会に分かれ、市内各地区青少年育成協議会などの協力のもと活動を行った。	難行動」、「大雪時の一人暮らしの屋根雪除雪」は、別々に町内に降りてきているが、重複しているため、一体化して推進すべき。 *市福祉担当窓口は、受身でなく、情報が入れば、積極的に相談にのり出向くなどの体制づくりが必要。 *鯖江市は住みやすい街だと思いますが個人的に公害（大気汚染、水質汚染）が未だ点在している街であるとも考えています。より一層クリーンアップを。 *交通機関をもっと整備して欲しい。他県の人も魅力に思うまちづくりが必要。 *これからの社会は高齢者でなく子供たちに焦点を当てて行政を行なってほしい。
3－(1) 地域福祉を推進する拠点と仕組みづくり	*40才以上の人を対象に、介護支援サポーターポイント事業を実施した。 *第一層生活支援コーディネーターを市と市社協に、地域支え合い推進員を各地区公民館に配置し、地域の実情に応じた地域支え合いの体制づくりに取り組んだ。住民主体の生活支援サービス実施団体補助事業を実施した。 *共同募金が、身近なところで役立っていることを知ってもらうため、地域助成を行った。	*市内に子供たちがのびのび遊べる場所が欲しい。 *雨天時でも遊べるところがあるとよい。 *少子高齢化時代、子育て、高齢者の対応が重点課題。公民館に社会教育を含め福祉対応機能を持たせる。福祉関係のなんでも相談受付対応と災害対応も含め、公民館に住みよい街づくりの拠点機能をもたせる。当然市職員の配置も必要。 *女性が活躍しやすいまちづくりを推進しているが、保育施設が不足している。 *住民が支え合わないと実現しない福祉体制では、少子高齢が進む今後持続しない。指定介護福祉サービスなど、国民の共同連帯により賄われているサービスを、必要な人にしっかり提供できる体制作りこそ行政に求められている。 *働く世代は普段仕事と育児、家事に忙しく、ボランティアなどの参加は難しい。
3－(2) 施策の充実	*ひきこもりや不安定な精神状態などにより就労が困難な生活困窮者に対し、就労準備支援事業により、訓練の場を提供した。 *ふれあいサロンの円滑な自主運営のため、リーダー研修会や巡回相談、新規設置サロン相談を行った。	*工場などを誘致して人口の増加に力を入れる。子供達のクラブ活動を民間の指導者に移行する。 *高齢者(75才以上)が通院しやすいように、かかりつけ病院までのタクシーチケットの配布を希望する。 *同居であっても送迎が難しい家族が多

資料2 前計画推進状況の評価

基本施策	前計画の評価	市民・関係団体からの主な意見等
	*介護予防の普及や介護予防事業のサポート等を行う人材養成講座を開催した。 *地域支え合い推進員が、住民主体の集いの場を把握し、集いの場づくりを推進した。 *「地域で育む子育て支援ネットワーク委員会」を中心に、子育て支援活動を展開した。また、子育てサポーターの会「COSAPO」と地区委員会と連携を強化し、子育て支援体制づくりに努めた。 *統合による公立園のこども園化および新横江保育園のこども園化により、認定こども園への移行推進を図った。 *鯖江市子育て支援センターにじいろを整備し、子育てに関する様々な支援を行った。 *特定健診未受診者には受診勧奨し、がん検診は、要精密検査の人への受診勧奨や、未受診者へ個別通知のほか、子宮頸がんや乳がん検診の無料クーポン券を送付を行った。	い。バスの本数も少なすぎるので、なんとかしてほしい。また、民間の介護タクシーの台数が少ない。
3－(3) 地域で支えるネットワークづくりから地域包括ケアシステムの構築へ	*地域支え合い推進員を各地区公民館に配置し、地区社協と連携しながら、高齢者の生活支援ニーズや課題把握を行い、解決に向けて話し合う場を設けた。 *町内等において要支援者を発見し、声かけ、見守り等の支援活動を行う体制を整備するため、ご近所福祉ネットワーク活動を推進し、地域住民と密接な関係を持つ事業所と地域見守り協定を締結した。また、区長および民生委員児童委員等と連携して避難行動要支援者登録制度の促進を図った。 *おおむね 65 歳以上のひとり暮らし高齢者または高齢者世帯員に対して、緊急通報装置を貸与・斡旋し、家族や近隣協力員に連絡がとれる体制を整備した。	*ご近所福祉ネットワークの機能、連携ができていない。 *行政と地域とのつながりが少ない。もっと定期的に住民と対話、意見交換をする機会を設けてほしい。 *地域で助け支え合う活動が、無理なく自然な形でできることを望んでいる。 *ご近所福祉ネットワークには、各区長のリーダーシップが必要。区長を先頭に住み良い町づくりの進め方を町内全体で話し合うことが必要。 *住民の団結心が無くなり、自己中心的になっており、従来の良い習慣が徐々に無くなりつつある。 *行政や福祉に住民が参加するのは、そういうあたりまえの常識を皆が常に考え行動することで初めて意味がある。
4－(1) 人権尊重と福祉サービスの質の確保	*学識経験者、弁護士、警察、県児童相談所長、青少年愛護センター、市PTA連合会長、人権擁護委員等で構成するいじめ問題対策連絡協議会を開催し、市内小中学校でいじめの防止、早期発見、早期対応の対策が効果的に講じられているか検証した。 *オンラインによる人権研修会やリモートで人権講演会を開催した。 *人権擁護委員が、毎月「市民相談」を行った。また、人権の花運動や人権図書コ	*家庭での教育が基本。行政は、事務的でなく思いやりのある対応を。 *コミュニティーバスを利用しているが、高齢で足腰が悪くなる人が増加する現実から乗車口、降車口の段差がないバスの運行を。

基本施策	前計画の評価	市民・関係団体からの主な意見等
	一ナーの設置、などを実施した。 ＊市内各地区公民館において男女共同参画で地域づくりを考える研修会を開催した。 ＊「福祉サービス苦情調整委員会」、福井県社会福祉協議会が事務局となっている「福井県運営適正化委員会」、福井県国民健康保険団体連合会の介護サービス苦情対応の周知を図った。	
4－(2) 地域福祉 権利擁護 の推進	＊市ホームページに成年後見制度利用支援事業についての申請手続き等を掲載。 ＊認知症等、判断能力に欠ける方に対し、日常生活自立支援事業によるサービスを提供、支援した。 ＊認知症や知的・精神障がいなどで判断能力が不十分な高齢者が、成年後見制度を利用できるように制度説明や申立て手続きを支援した。 ＊ふくい嶺北連携中枢都市圏ビジョン成年後見制度利用促進体制整備事業連携協議会において、広域的な地域連携ネットワークや中核機関の設置について協議を行った。	＊弱者権利のより一層の充実を向上すべき。 ＊世の中の変化が遅いことにがっかりしている。少しでもいろんな人にとって生きやすい市であって欲しい。
4－(3) 災害時の 支援体制 の充実	＊要配慮者名簿を作成し、避難行動要支援者名簿未登録者に申請書を送付し、登録推進と制度普及を図っている。民生委員児童委員に、気がかりな高齢者の登録推進と登録者の状況確認を依頼している。 ＊各町内の自主防災組織が主体的に防災訓練や行政出前講座などを開催し、地区住民の防災活動の活性化を図った。 ＊出前講座、サロン等にて、地域住民に対して福祉避難所について周知を行った。 ＊地区ごとの災害時サポートガイドブックにより福祉避難所の周知を図った。 ＊要配慮者に対し、雪おろし等の相談に応じるなどの支援を行っている。 ＊屋根雪おろしを請け負う業者、ボランティアを募集し、必要な人に情報提供した。	＊金額面、サービスの充実さ、県民一のおもいやりのある人材、災害(大雪での除雪の対応の早さなど)水害にも改善できる所はお金をかけて、災害があっても、1人もケガや死亡者を出さない対策を。 ＊プライバシーのことがあり、ご近所福祉ネットワークといっても支援を受ける側もする側も二の足を踏むところがある。ただし、大災害の時は、ご近所で支え合う体制づくりが必要になってくるため、登録制度に加えて、ご近所避難ネットワークが連動すると良い。 ＊マップづくりは一定の効果はあると思うが、更新して行くことが重要。しかし、コロナ禍の状況での継続は難しい。 ＊避難行動要支援者の個別計画作成について、一住民が地域住民の個別計画をたてることは難しい。意見を参考にする程度にして、行政で作成すべき。
4－(4) ユニバー サルデザ インのま ちづくり	＊市民からの情報により関係課に情報提供し、安全な環境整備に努め、ホームページ上で公共施設のバリアフリー化についての周知を図った。 ＊各地区の高齢者サロンに出向き、つつじバスのお得な制度・乗り継ぎ方法を学んでいただく講座を開始した。	＊高齢者を抱える状況下にあっても具体的な支援や給付、バリアフリー化に伴う金銭的なことが何一つない。それでいて高齢者は増加する。リフォームするにも支援もない現状において金銭的負担ばかりが増加。手続き等に時間がかかりすぎる。

資料3 前計画目標値と実績

(1) 地域福祉計画

基本目標	基本施策	指標名	R3 年度 目標値	R2 年度 実績	R3 年度 実績(見込み)
1. 地域福祉 の人づくり	(1) つながりのある 地域づくり	公民館学級の参加者 数	12,000 人	6,635 人 コロナで減	5,799 人
	(3) ボランティア活 動の推進	福祉ボランティアの 登録者数	団体 70 団体	団体 60 団体	団体 57 団体
			個人 480 人	個人 225 人	個人 424 人
2. 情報提 供・相談体制 の充実と問 題発見の仕 組みづくり	(3) 地域の問題発見 体制の整備	見守り体制（ご近所 福祉ネットワーク活 動）の組織化率	100.0%	84.3%	88.8%
3. 地域で支 える仕組み づくりと施 策の充実	(2) 施策の充実	健康出前講座延べ参 加者数	2,700 人	724 人	840 人
		健康寿命ふれあいサ ロン設置数（R2～サ ロンリーダー数）	120 カ所	111 人 サロンリーダー 数	111 人
		地区子育て支援ネッ トワーク委員会延べ 開催回数	180 回	117 回 9 月～事業委託	115 回
4. 権利擁護 と安全なま ちづくり	(1) 人権尊重と福祉 サービスの質の確保	介護保険利用者擁護 委員会の開催数	12 回	1 回	9 回
	(2) 地域福祉権利擁 護の推進	日常生活自立支援事 業利用者数	35 人	24 人	28 人

(2) 障がい者計画

基本目標	基本施策	指標名	R3 年度 目標値	R2 年度 実績	R3 年度 実績(見込み)
1. 相互理解の促進と相談支援の充実	(1)障がい者に対する理解の促進と権利擁護	・日常生活自立支援事業利用者数	25 人	18 人	20 人
	(2)相談体制の充実	・相談支援事業所での相談件数	6,500 件	6,316 件	※4,800 件
	(3)情報提供の充実	・広報音訳、点訳率	100%	100%	100%
		・障がい者福祉情報広報紙、ホームページ掲載数	22 回	20 回	20 回
2. 療育・保育・教育の充実	(1)障がいの早期発見と療育の支援	・乳児一般健康診査事業の受診率(1か月、4か月、9～10か月の合計)	100%	96.6%	100%
		・1歳6か月児健康診査事業の受診率	100%	97.1%	100%
		・3歳児健康診査事業の受診率	100%	99.5%	100%
		・乳幼児育成指導事業の回数	83 回維持	76 回	78 回
	(2) 保育・幼児教育等における対応の充実	・保育所における障がい児受入率	100%維持	100%	100%
	(3) 学校教育の充実	・教育支援委員会等開催数	8 回	6 回	6 回
3. 雇用・就労の充実	(1)企業就労等の促進	・障がい者就労支援関係会議等開催数	5 回	1 回	3 回
	(2) 福祉的就労支援の充実	・市の就労継続支援施設等優先発注数	20 件	54 件	44 件
		・セルフフェア開催数	8 回	3 回	12 回
4. 社会参加の促進	(1) 障がい者の交流と参画支援	・手話通訳者等派遣回数	90 回	99 回	192 回
	(2) 日中活動の場の充実	・地域活動支援センター延べ利用数	8,900 人	4,689 人	4,770 人
	(3)外出支援の充実	・自動車改造助成・免許取得助成件数	10 件	6 件	7 件
5. 保健・医療サービスの充実	(1)医療との連携	・こころの健康相談開催回数	24 回維持	24 回	18 回
7. 安全なまちづくりの推進	(1) 生活環境の整備	・歩道(段差解消)の整備率(整備延長/計画延長)	29.0%	27.4%	27.7%
	(2)住環境の整備	・重度身体障害者住宅改造助成事業利用者数	5 件	4 件	2 件

※令和3年度より、件数の計上方法を相談内容延べ件数から相談者の延べ人数に変更

資料 4 地域福祉計画に関するアンケート調査結果

(1) 調査の目的

本調査は、鯖江市にお住まいの 18 歳以上の市民を対象に、地域における日常生活上の課題、地域活動やボランティア活動の実態などを把握し、地域福祉計画等策定のための基礎資料とすることを目的とする。

(2) 調査の方法

①調査時期

令和 3 年 1 月 15 日（金）～令和 3 年 1 月 29 日（金）

②調査方法

配布・・・郵送

回収・・・郵送またはインターネット上で入力

③調査対象者

令和 2 年 12 月 1 日現在、市内在住の 18 歳以上の方の中から、男女、年齢、地域別に無作為に抽出した 2,000 人を対象に、無記名方式により実施

(3) 配布数・回収数

- ・回収率は 48.6%（配布数 2,000 票、回収数 郵送 813 票・インターネット 159 票）

(4) 集計処理について

- ・ 回答すべき設問に回答のない場合は、いずれも「無回答」として集計した。
- ・ 集計表の比率については小数点第 2 位で四捨五入して表示しているため、択一回答における表中の比率の内訳を合計しても 100%に合致しない場合がある。
- ・ 「SA」は単数回答で、各設問について 1 つの選択肢のみの回答を示している。
- ・ 「MA」は複数回答で、各設問に対して複数の選択肢を回答している。

(5) 地域福祉計画策定に関するアンケート回答内容

地域福祉計画アンケート結果 単純集計

問1 あなたの性別は？(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	男性	411	42.3
2	女性	561	57.7
	不明・無回答	0	0.0
	合計	972	100.0

問2 あなたの年齢は？(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	20歳未満	20	2.1
2	20歳代	64	6.6
3	30歳代	109	11.2
4	40歳代	169	17.4
5	50歳代	139	14.3
6	60歳代	165	17.0
7	70歳代	195	20.1
8	80歳以上	109	11.2
	不明・無回答	2	0.2
	合計	972	100.0

問3 あなたは、現在どの地区にお住まいですか？(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	鯖江地区	271	27.9
2	新横江地区	69	7.1
3	神明地区	199	20.5
4	中河地区	56	5.8
5	片上地区	24	2.5
6	立待地区	108	11.1
7	吉川地区	78	8.0
8	豊地区	51	5.2
9	北中山地区	49	5.0
10	河和田地区	54	5.6
11	施設	5	0.5
	不明・無回答	8	0.8
	合計	972	100.0

問4 あなたは、現在の地域(町内や地区)にお住まいになって何年になりますか。(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1年未満	27	2.8
2	1～5年	87	9.0
3	6～10年	63	6.5
4	11～20年	163	16.8
5	21～30年	130	13.4
6	31年以上	495	50.9
	不明・無回答	7	0.7
	合計	972	100.0

問5 あなたの世帯構成は？(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	単身者	73	7.5
2	夫婦のみ(1世代世帯)	180	18.5
3	2世帯同居(親と子等)	519	53.4
4	3世帯同居(親と子と孫)	142	14.6
5	その他	50	5.1
	不明・無回答	8	0.8
	合計	972	100.0

問6 あなたの職業は？(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	常勤会社員(団体職員含む)	327	33.6
2	常勤公務員	42	4.3
3	パート・アルバイト	127	13.1
4	自営業(商工業)	68	7.0
5	農林水産業	12	1.2
6	高校生	11	1.1
7	大学生・専門学校生等	17	1.7
8	無職	321	33.0
9	その他	42	4.3
	不明・無回答	5	0.5
	合計	972	100.0

資料 4 地域福祉計画に関するアンケート調査結果

問 7 あなたは、住んでいる地域（町内や地区）に愛着がありますか。（SA）

No.	カテゴリ	R2		H28	
		件数	(全体)%	件数	(全体)%
1	大いにある	226	23.3	295	28.8
2	ある程度ある	508	52.3	502	48.9
3	どちらともいえない	139	14.3	140	13.6
4	あまりない	77	7.9	68	6.6
5	全くない	15	1.5	18	1.8
	不明・無回答	7	0.7	3	0.3
	合計	972	100.0	1,026	100

問 8 あなたは、ご近所の人とどの程度のおつきあいがありますか。（SA）

No.	カテゴリ	R2		H28	
		件数	(全体)%	件数	(全体)%
1	お茶のみや手助けなど家族同様に、頻繁に家の中まで行き来している	22	2.3	52	5.1
2	玄関先での簡単な頼みごとや、ものの貸し借りなど気軽に助け合っている	127	13.1	149	14.5
3	外で会うと世間話や情報交換など、よく立ち話をする程度のつきあいである	306	31.5	318	31
4	顔を合わせると、あいさつをし合う程度のつきあいである	428	44.0	439	42.8
5	顔は知っているが、話をしたことはない	28	2.9	—	—
6	顔もよくわからず、ほとんどつきあいが無い	46	4.7	54	5.3
7	その他	12	1.2	10	1
	不明・無回答	3	0.3	4	0.4
	合計	972	100.0	1,026	100

問 9 あなたは、ご近所とのつきあいを広げたいと思いますか。（SA）

No.	カテゴリ	R2		H28	
		件数	(全体)%	件数	(全体)%
1	もっと広げたい	117	12.0	156	15.2
2	今のままでよい	787	81.0	795	77.5
3	もっと狭くしたい	36	3.7	9	0.9
	不明・無回答	32	3.3	66	6.4
	合計	972	100.0	1,026	100

問 10 あなたは、ご近所に住む高齢者世帯、障がい者、子育て中の方などに対する支援についてどのように考えていますか。（SA）

No.	カテゴリ	R2		H28	
		件数	(全体)%	件数	(全体)%
1	近所に住む者として、できる範囲で支援したい	239	24.6	283	27.6
2	行政機関や町内会などから頼まれれば支援したい	96	9.9	91	8.9
3	本人から頼まれれば支援したい	177	18.2	162	15.8
4	支援をしたいが、自分のことで精一杯でその余裕がない	275	28.3	311	30.3
5	あまり関わりたくないで、支援はしない	24	2.5	36	3.5
6	支援は市などの行政がする仕事なので、近所の者はしなくてよい	19	2.0	12	1.2
7	地域のことに熱心な人がいるので、その人に任せるのがよい	23	2.4	22	2.1
8	わからない	81	8.3	9	0.9
9	その他	14	1.4	51	5
	不明・無回答	24	2.5	49	4.8
	合計	972	100.0	1,026	100

問 11 あなたは、地域（町内や地区）での助け合い支え合う活動「ご近所福祉ネットワーク活動」についてご存知ですか。（SA）

No.	カテゴリ	R2		H28	
		件数	(全体)%	件数	(全体)%
1	活動の名称も、内容も知っている	78	8.0	90	8.8
2	活動の名称は聞いたことがあるが、内容はよく知らない	235	24.2	275	26.8
3	活動の名称も内容も全く知らない	633	65.1	601	58.6
4	その他	5	0.5	5	0.5
	不明・無回答	21	2.2	55	5.4
	合計	972	100.0	1,026	100

資料４ 地域福祉計画に関するアンケート調査結果

問１２ 地域（町内や地区）で協力し合って取り組むことが必要なのは、次のどれだとお考えですか。（MA）

No.	カテゴリ	R2		H28	
		件数	(全体)%	件数	(全体)%
1	地域住民同士の交流	314	32.3	388	37.8
2	高齢者世帯の見守り・生きがいづくり	404	41.6	446	43.5
3	子育て支援	218	22.4	191	18.6
4	障がい者支援	116	11.9	110	10.7
5	健康づくり・介護予防支援	175	18.0	220	21.4
6	青少年の健全育成・子どもの見守り	272	28.0	292	28.5
7	防犯の取り組み	335	34.5	331	32.3
8	災害対策（雪かき含む）	534	54.9	411	40.1
9	その他	10	1.0	9	0.9
	不明・無回答	31	3.2	57	5.6
	合計	2,409	—	2,455	—

問１３ あなたは、毎日の暮らしの中で困ったり、不安を感じたとき誰に相談しますか。（MA）

No.	カテゴリ	R2		H28	
		件数	(全体)%	件数	(全体)%
1	家族	839	86.3	859	83.7
2	親類や親戚	284	29.2	386	37.6
3	隣近所の人	92	9.5	121	11.8
4	友人・知人	453	46.6	484	47.2
5	職場の人	202	20.8	183	17.8
6	保育士や学校の先生	16	1.6	5	0.5
7	市役所などの窓口・職員	84	8.6	81	7.9
8	社会福祉協議会の窓口・職員	11	1.1	20	1.9
9	区長・民生委員児童委員・福祉委員	62	6.4	30	2.9
10	民間福祉団体（当事者組織含む）	2	0.2	0	0
11	地域包括支援センター（サブセンターを含む）	18	1.9	11	1.1
12	ボランティア・NPO	2	0.2	3	0.3
13	ケアマネジャー・サービス事業所の人	41	4.2	32	3.1
14	医師・保健師・看護師など	46	4.7	87	8.5
15	民間電話相談	3	0.3	6	0.6
16	インターネットの相談サイト	14	1.4	22	2.1
17	子育て支援センター	3	0.3	—	—
18	障がい者等基幹相談支援センター	3	0.3	—	—
19	自立促進支援センター	0	0.0	—	—
20	相談相手がいない	23	2.4	25	2.4
21	その他	10	1.0	11	1.1
	不明・無回答	23	2.4	46	4.5
	合計	2,231	—	2,412	—

問１４ あなたは、今までにボランティア活動やNPO活動に参加したことがありますか。（SA）

No.	カテゴリ	R2		H28	
		件数	(全体)%	件数	(全体)%
1	ある	218	22.4	227	22.1
2	現在は参加していないが、以前に参加したことがある	143	14.7	123	12
3	ない	581	59.8	646	63
	不明・無回答	30	3.1	30	2.9
	合計	972	100.0	1,026	100

資料4 地域福祉計画に関するアンケート調査結果

問15-1 どんな活動に参加したことがありますか。(MA)

No.	カテゴリ	R2		H28	
		件数	(全体)%	件数	(全体)%
1	高齢者支援に関する活動	78	8.0	72	20.6
2	子育て支援に関する活動	50	5.1	54	15.4
3	障がい者支援に関する活動	70	7.2	75	21.4
4	健康づくり・医療に関する活動	44	4.5	35	10
5	消防・防災・防犯・災害支援に関する活動	87	9.0	112	32
6	自然環境保護・リサイクルに関する活動	62	6.4	64	18.3
7	趣味や生涯学習・スポーツ指導に関する活動	61	6.3	60	17.1
8	青少年の健全育成に関する活動	45	4.6	56	16
9	国際交流・国際協力に関する活動	19	2.0	18	5.1
10	まちづくりに関する活動	76	7.8	64	18.3
11	登下校の見守り活動	57	5.9	—	—
12	P T A活動	114	11.7	—	—
13	その他の活動	47	4.8	0	0
	不明・無回答	14	1.4	24	6.9
	合計	824	—	634	—

問15-2 参加したきっかけは、何ですか。(MA)

No.	カテゴリ	R2		H28	
		件数	(全体)%	件数	(全体)%
1	自己啓発ややりがい求めて	84	8.6	67	19.1
2	身近に支援を必要とする人がいたから	42	4.3	50	14.3
3	福祉に関心をもったから	56	5.8	53	15.1
4	新聞やテレビの報道を見て関心をもったから	12	1.2	20	5.7
5	友人、知人、家族などの周りの人に勧められたから	143	14.7	124	35.4
6	生徒会やP T Aなどの関わりから	109	11.2	58	16.6
7	宗教上の関わりから	4	0.4	5	1.4
8	企業の地域貢献の経験から	25	2.6	—	—
9	社会福祉協議会や福祉施設、団体などから募集があったから	47	4.8	49	14
10	その他	44	4.5	50	14.3
	不明・無回答	24	2.5	14	4
	合計	590	—	490	—

問16 どのような条件が整えば参加してみたいと思いますか。(MA)

No.	カテゴリ	R2		H28	
		件数	(全体)%	件数	(全体)%
1	自分にあった時間や内容の活動があれば参加してみたい	302	31.1	341	52.8
2	自分の特技を活かせることがあれば参加してみたい	110	11.3	122	18.9
3	交通費などの経費を援助してくれるのであれば参加してみたい	55	5.7	54	8.4
4	ボランティア講座などを受けてからであれば参加してみたい	26	2.7	43	6.7
5	友人、知人、家族と一緒に活動できるのであれば参加してみたい	128	13.2	141	21.8
6	学校の活動であれば参加してみたい	25	2.6	22	3.4
7	自分が住んでいる地域の活動であれば参加してみたい	109	11.2	131	20.3
8	ボランティアグループに入れるのであれば参加してみたい	16	1.6	23	3.6
9	参加するつもりはない	140	14.4	124	19.2
10	その他	37	3.8	47	7.3
	不明・無回答	15	1.5	12	1.9
	合計	963	—	1060	—

問17 あなたは、地域でボランティアを広げるためにどのようなことが必要だと思いますか。(MA)

No.	カテゴリ	R2		H28	
		件数	(全体)%	件数	(全体)%
1	学校でのボランティア活動を活発に行う	220	22.6	258	25.1
2	ボランティアに経済的負担がかからないよう経費を援助する	360	37.0	339	33
3	ボランティアとボランティアを必要とする人をつないでいく	356	36.6	342	33.3
4	企業ボランティア休暇制度を社会に広める	181	18.6	177	17.3
5	ボランティア活動に関する相談や活動の中心となる場所を提供する	174	17.9	183	17.8
6	ボランティアの活動内容を積極的にP Rする	334	34.4	400	39
7	ボランティア講座や研修会を開催する	176	18.1	186	18.1
8	その他	27	2.8	30	2.9
	不明・無回答	79	8.1	98	9.6
	合計	1,907	—	2,013	—

資料４ 地域福祉計画に関するアンケート調査結果

問１８ あなたが現在参加している活動も含め、これから参加するとすれば、どのような活動に参加したいですか。(MA)

No.	カテゴリー	R2		H28	
		件数	(全体)%	件数	(全体)%
1	高齢者支援に関する活動	254	26.1	329	32.1
2	子育て支援に関する活動	205	21.1	236	23
3	障がい者支援に関する活動	134	13.8	143	13.9
4	健康づくり・医療に関する活動	204	21.0	236	23
5	消防・防災・防犯・災害支援に関する活動	245	25.2	233	22.7
6	自然環境保護・リサイクルに関する活動	169	17.4	204	19.9
7	趣味や生涯学習・スポーツ指導に関する活動	220	22.6	250	24.4
8	青少年の健全育成に関する活動	59	6.1	100	9.7
9	国際交流・国際協力に関する活動	50	5.1	58	5.7
10	まちづくりに関する活動	167	17.2	238	23.2
11	登下校の見守り活動	132	13.6	—	—
12	P T A 活動	26	2.7	—	—
13	その他の活動	42	4.3	20	1.9
	不明・無回答	107	11.0	113	11
	合計	2,014	—	2,160	—

問１９ 高齢者にとって住みよいまちをつくるために、鯖江市においてはどのようなことが重要だと考えますか。(MA)

No.	カテゴリー	R2		H28	
		件数	(全体)%	件数	(全体)%
1	健康づくりや医療体制の充実	270	27.8	295	28.8
2	施設、道路、自宅などのバリアフリー	188	19.3	192	18.7
3	移動手段の確保	476	49.0	369	36
4	在宅の高齢者に対する福祉サービスの充実	251	25.8	295	28.8
5	入所施設やグループホームなどの充実	227	23.4	257	25
6	働く場の充実	142	14.6	167	16.3
7	社会参加活動ができる機会の充実	98	10.1	125	12.2
8	高齢者が文化・スポーツ活動などに参加できる機会の充実	108	11.1	135	13.2
9	年金・医療保険などの金銭面の支援	272	28.0	268	26.1
10	困ったときの相談体制や情報提供の充実	235	24.2	227	22.1
11	身近な地域で高齢者を支える取り組みの充実	170	17.5	185	18
12	その他	11	1.1	17	1.7
	不明・無回答	30	3.1	53	5.2
	合計	2,478	—	2,585	—

問２０ 子どもがいきいきと育つために、鯖江市においてはどのようなことが重要だと考えますか。(MA)

No.	カテゴリー	R2		H28	
		件数	(全体)%	件数	(全体)%
1	男女共に家事・育児に参加するための意識づくり	270	27.8	275	26.8
2	安心して出産や育児ができる母子保健や医療サービスの充実	339	34.9	345	33.6
3	保育サービス（一時保育、学童保育など）の充実	436	44.9	433	42.2
4	育児休業制度や出産後の再雇用制度の充実	235	24.2	274	26.7
5	育児や教育にかかる金銭面の支援	371	38.2	337	32.8
6	子どもが安心して遊べる公園などの整備	254	26.1	272	26.3
7	困ったときの相談体制や情報提供の充実	246	25.3	270	26.3
8	地域ぐるみで子育てを支援する体制の充実	190	19.5	247	24.1
9	その他	25	2.6	18	1.8
	不明・無回答	56	5.8	45	4.4
	合計	2,422	—	2,516	—

資料４ 地域福祉計画に関するアンケート調査結果

問２１ 障がいのある人にとって住みよいまちをつくるために、鯖江市においてどのようなことが重要だと考えますか。（MA）

No.	カテゴリ	R2		H28	
		件数	(全体)%	件数	(全体)%
1	自立した生活を送るための教育や生活訓練の充実	350	36.0	328	32
2	職業訓練や働く場の充実	400	41.2	429	41.8
3	施設、道路、自宅などのバリアフリー	213	21.9	199	19.4
4	障がいのある人に対する理解の促進	374	38.5	386	37.6
5	在宅の障がいのある人に対する福祉サービスの充実	195	20.1	190	18.5
6	入所施設やグループホームなどの充実	189	19.4	178	17.3
7	福祉手当の支給など、金銭面の支援	219	22.5	217	21.2
8	障がいのある人が住みやすい住宅の整備	94	9.7	125	12.2
9	困ったときの相談体制や情報提供の充実	241	24.8	274	26.7
10	身近な地域で障がいのある人を支援する体制の充実	143	14.7	164	16
11	その他	12	1.2	9	0.9
	不明・無回答	34	3.5	35	3.4
	合計	2,464	—	2,534	—

問２２ あなたの家のご近所で、子どもや高齢者等の虐待の可能性がある場合、あなたはどんな行動をしますか。（SA）

No.	カテゴリ	R2		H28	
		件数	(全体)%	件数	(全体)%
1	気になり、自分で確認しに行く	69	7.1	93	9.1
2	気になり、市役所や児童相談所・警察等に通報する	498	51.2	511	49.8
3	気になり、近所の民生委員・児童委員に連絡する	221	22.7	286	27.9
4	他人のことなので、何もしない	37	3.8	28	2.7
5	通報・連絡したことが知られると困るので、何もしない	57	5.9	46	4.5
6	気にしないので、何もしない	9	0.9	6	0.6
7	その他	36	3.7	26	2.5
	不明・無回答	45	4.6	30	2.9
	合計	972	100.0	1,026	100

問２３ あなたは、子どもたちに思いやりの心や福祉への理解と参加の心を育てる教育をどのように行うのが最もよいと考えますか。

No.	カテゴリ	R2		H28	
		件数	(全体)%	件数	(全体)%
1	日々の暮らしを通して家庭の中で学ぶ	322	33.1	417	40.6
2	学校教育の中で体験学習を通して学ぶ	307	31.6	373	36.4
3	ボランティアなど地域の活動を通して学ぶ	244	25.1	159	15.5
4	その他	23	2.4	12	1.2
5	わからない	38	3.9	30	2.9
	不明・無回答	38	3.9	35	3.4
	合計	972	100.0	1,026	100

資料4 地域福祉計画に関するアンケート調査結果

問2-4 あなたは、避難行動要支援者登録制度をご存知ですか。(SA)

No.	カテゴリ	R2		H28	
		件数	(全体)%	件数	(全体)%
1	制度の名称も、内容も知っている	121	12.4	107	10.4
2	制度の名称は聞いたことがあるが、内容はよく知らない	216	22.2	252	24.6
3	制度の名称も内容も全く知らない	593	61.0	603	58.8
4	その他	3	0.3	3	0.3
	不明・無回答	39	4.0	61	5.9
	合計	972	100.0	1,026	100

問2-5 あなたは、支援を必要としている人から避難支援者（見守り者）として依頼されたらどうしますか。(SA)

No.	カテゴリ	R2		H28	
		件数	(全体)%	件数	(全体)%
1	支援者になってみたい	217	22.3	274	26.7
2	支援者になりたくない	93	9.6	101	9.8
3	自分が支援される立場であるのでできない	186	19.1	181	17.6
4	わからない	435	44.8	402	39.2
	不明・無回答	41	4.2	68	6.6
	合計	972	100.0	1,026	100

問2-6 災害発生に備え、住民が支え合う地域づくりには何が必要だと思いますか。(MA)

No.	カテゴリ	R2		H28	
		件数	(全体)%	件数	(全体)%
1	自主防災組織づくり（地域住民で結成する自警隊）	292	30.0	394	38.4
2	住民一人一人の防災対策（建物や家具などの倒壊転倒防止等の備え）	475	48.9		
3	避難行動要支援者（災害時に支援を必要とする人）の登録推進	185	19.0	308	30
4	避難行動要支援者がどこに住んでいるか一目でわかる「マップ(地図)」の作成	301	31.0	465	45.3
5	地域での定期的な避難訓練	234	24.1	351	34.2
6	地域やグループなどでの体験学習会	125	12.9	154	15
7	福祉サービスなどを提供する施設や事業者との連携	137	14.1	232	22.6
8	避難行動要支援者の個別計画の作成	74	7.6		
9	在宅医療が困難になった時の医療との連携	250	25.7		
10	その他	11	1.1	19	1.9
11	わからない	68	7.0	71	6.9
	不明・無回答	39	4.0	67	6.5
	合計	2,191	—	2,061	—

問2-7 人権尊重を進めるために、取り組むべき施策としてどれが重要だと思いますか。(MA)

No.	カテゴリ	R2		H28	
		件数	(全体)%	件数	(全体)%
1	家庭の中で人権を尊重する取り組みを充実する	377	38.8	412	40.2
2	学校の中で人権を尊重する教育に力を入れる	506	52.1	604	58.9
3	公民館など社会教育施設の中で、人権を尊重する教育に力を入れる	97	10.0	159	15.5
4	自治会など地域社会での取り組みを充実する	183	18.8	197	19.2
5	企業（職場）における取り組みを充実する	255	26.2	162	15.8
6	社会全体に対する啓発・広報活動などの取り組みを充実する	269	27.7	279	27.2
7	人権侵害の苦情処理体制を充実する	104	10.7	95	9.3
8	人権侵害の通報体制を強化する	106	10.9	93	9.1
9	その他	15	1.5	9	0.9
10	わからない	117	12.0	90	8.8
	不明・無回答	74	7.6	67	6.5
	合計	2,103	—	2,167	—

資料４ 地域福祉計画に関するアンケート調査結果

問２８ 生活に困っている方の生活全般にわたる相談窓口として、市役所内に自立促進支援センターを設置しましたが、ご存知ですか。（SA）

No.	カテゴリ	R2		H28	
		件数	(全体)%	件数	(全体)%
1	名称も、内容も知っている	101	10.4	43	4.2
2	名称は聞いたことがあるが、内容はよく知らない	353	36.3	204	19.9
3	名称も内容も全く知らない	476	49.0	737	71.8
4	その他	5	0.5	3	0.3
	不明・無回答	37	3.8	39	3.8
	合計	972	100.0	1,026	100

問２９ 生活困窮者に対する支援事業として、どのような取り組みが必要だと思いますか。（MA）

No.	カテゴリ	R2		H28	
		件数	(全体)%	件数	(全体)%
1	相談に応じ、支援の計画をつくり、必要な支援につなげる（自立相談支援事業）	581	59.8	625	60.9
2	離職により住まいを失うか、失うおそれの高い人に家賃の支援を行う（住居確保給付金）	194	20.0	196	19.1
3	就労に必要な訓練を段階的に行う（就労支援準備事業）	335	34.5	365	35.6
4	住居を持たない人に、一定期間、宿泊場所や衣食の提供等を行う（一時生活支援事業）	261	26.9	213	20.8
5	家計に関する相談や家計管理の指導、貸付のあっせん等を行う（家計相談支援事業）	149	15.3	217	21.2
6	生活困窮家庭の子供に対する学習支援を行う（学習支援事業）	450	46.3	487	47.5
7	貸付により支援を行う（生活福祉資金等）	96	9.9	—	—
8	その他	18	1.9	26	2.5
	不明・無回答	66	6.8	77	7.5
	合計	2,150	—	2,206	—

問３０ あなたは、福祉や健康についてどのような情報を知りたいですか。（MA）

No.	カテゴリ	R2		H28	
		件数	(全体)%	件数	(全体)%
1	健康づくりについてのサービスの情報	224	23.0	267	26
2	子育てについてのサービスの情報	218	22.4	219	21.3
3	高齢者や障がいのある人についてのサービスの情報	313	32.2	352	34.3
4	福祉や健康についてのサービス利用方法についての情報	281	28.9	361	35.2
5	介護保険についての情報	160	16.5	214	20.9
6	介護保険や福祉のサービス提供業者のサービス内容の情報	266	27.4	280	27.3
7	ボランティア活動やNPOなどの市民活動についての情報	78	8.0	91	8.9
8	健康づくりや生きがいづくりのための学習会や講座等の情報	147	15.1	187	18.2
9	高齢者や障がいのある人が生活しやすい住宅や福祉機器についての情報	141	14.5	166	16.2
10	その他	10	1.0	7	0.7
11	特になし	109	11.2	74	7.2
	不明・無回答	51	5.2	46	4.5
	合計	1,998	—	2,264	—

資料４ 地域福祉計画に関するアンケート調査結果

問３１ 福祉や保健に関する情報は、主にどのようなところから得ていますか。（MA）

No.	カテゴリ	R2		H28	
		件数	(全体)%	件数	(全体)%
1	市の広報誌やパンフレット	638	65.6	700	68.2
2	市の相談窓口・保健師	53	5.5	53	5.2
3	新聞	274	28.2	319	31.1
4	テレビ・ラジオ	226	23.3	247	24.1
5	書籍・雑誌	40	4.1	29	2.8
6	社会福祉協議会やその機関紙	67	6.9	87	8.5
7	インターネット	256	26.3	166	16.2
8	公共施設や病院などにある掲示板	73	7.5	117	11.4
9	民生委員・児童委員	27	2.8	30	2.9
10	健康づくり推進員・愛育会役員	20	2.1	44	4.3
11	家族・親戚	118	12.1	93	9.1
12	友人、知人	112	11.5	122	11.9
13	隣近所	27	2.8	29	2.8
14	情報を得る必要がない	18	1.9	—	—
15	その他	18	1.9	25	2.4
	不明・無回答	48	4.9	71	6.9
	合計	2,015	—	2,132	—

問３２ 福祉や保健に関する相談窓口について、どのように感じられていますか。（MA）

No.	カテゴリ	R2		H28	
		件数	(全体)%	件数	(全体)%
1	おおむね十分である	157	16.2	188	18.3
2	利用時間に問題がある	87	9.0	74	7.2
3	相談員を充実する必要がある	71	7.3	72	7
4	相談の場所に問題がある	33	3.4	43	4.2
5	相談窓口の広報に問題がある	54	5.6	43	4.2
6	その他	19	2.0	25	2.4
7	わからない	577	59.4	559	54.5
	不明・無回答	75	7.7	129	12.6
	合計	1,073	—	1,133	—

問３３ あなたは、社会福祉協議会をご存知ですか。（SA）

No.	カテゴリ	R2		H28	
		件数	(全体)%	件数	(全体)%
1	どんな活動をしているか大体知っている	133	13.7	125	12.2
2	どんな活動をしているか少し知っている	223	22.9	252	24.6
3	名前を聞いたことがあるが、どんな活動をしているかは知らない	413	42.5	442	43.1
4	聞いたこともない	156	16.0	137	13.4
	不明・無回答	47	4.8	70	6.8
	合計	972	100.0	1,026	100

資料４ 地域福祉計画に関するアンケート調査結果

問３４－１ あなたは、あなたの町内を担当している「区長」をご存知ですか。（SA）

No.	カテゴリ	R2	
		件数	(全体)%
1	知っている	736	75.7
2	知らない	182	18.7
	不明・無回答	54	5.6
	合計	972	100.0

問３４－２ あなたは、あなたの町内を担当している「民生委員・児童委員」をご存知ですか。（SA）

No.	カテゴリ	R2		H28	
		件数	(全体)%	件数	(全体)%
1	知っている	319	32.8	463	45.1
2	知らない	555	57.1	499	48.6
	不明・無回答	98	10.1	64	6.2
	合計	972	100.0	1026	100

問３４－３ あなたは、あなたの町内を担当している「福祉委員」をご存知ですか。（SA）

No.	カテゴリ	R2	
		件数	(全体)%
1	知っている	178	18.3
2	知らない	677	69.7
	不明・無回答	117	12.0
	合計	972	100.0

問３５－１ あなたは、あなたの町内を担当している「区長」の活動内容をご存知です

No.	カテゴリ	R2	
		件数	(全体)%
1	知っている	571	58.7
2	知らない	332	34.2
	不明・無回答	69	7.1
	合計	972	100.0

問３５－２ あなたは、あなたの町内を担当している「民生委員児童委員」の活動内容をご存知で

No.	カテゴリ	R2		H28	
		件数	(全体)%	件数	(全体)%
1	知っている	315	32.4	355	34.6
2	知らない	558	57.4	604	58.9
	不明・無回答	99	10.2	67	6.5
	合計	972	100.0	1,026	100

問３５－３ あなたは、あなたの町内を担当している「福祉委員」の活動内容をご存知ですか。

No.	カテゴリ	R2	
		件数	(全体)%
1	知っている	165	17.0
2	知らない	688	70.8
	不明・無回答	119	12.2
	合計	972	100.0

資料4 地域福祉計画に関するアンケート調査結果

問36 今後、鯖江市民が安心して暮らせる住みよいまちをつくるために、どのようなことが重要だと考えますか。(MA)

No.	カテゴリ	R2		H28	
		件数	(全体)%	件数	(全体)%
1	在宅福祉サービスの充実	276	28.4	272	26.5
2	施設サービスの充実	270	27.8	248	24.2
3	身近なところでの相談窓口の充実	282	29.0	293	28.6
4	専門性の高い相談支援の充実	128	13.2	131	12.8
5	福祉に関する情報提供の充実	169	17.4	185	18
6	施設や交通機関等におけるバリアフリーの推進	106	10.9	92	9
7	個人の自立を支援するサービスの充実	131	13.5	136	13.3
8	地域活動や地域福祉活動への公的な援助の充実	106	10.9	116	11.3
9	地域活動や地域福祉活動を担う人材の育成	117	12.0	150	14.6
10	気軽に集れる場の充実	163	16.8	226	22
11	健康づくりや生きがいがづくりの推進	160	16.5	159	15.5
12	ご近所福祉ネットワーク活動（支え合う仕組みづくり）の推進	109	11.2	113	11
13	福祉教育の充実	55	5.7	54	5.3
14	避難行動要支援者登録制度の推進	55	5.7	33	3.2
15	生活困窮者自立支援の充実	101	10.4	111	10.8
16	その他	27	2.8	27	2.6
	不明・無回答	53	5.5	83	8.1
	合計	2,308	—	2,429	—